

「継続は力なり」

おはようございます。

ここに「不思議の国のアリス」という有名な物語があります。その物語の中で、**道に迷ったアリスに猫がこう言いました。『アリスはどこへ行きたいんだい？』そしてアリスは『着きさえすればどこだって・・・』そして猫はこう答えました。『そういうことなら大丈夫。君はどこかに着くことができるよ。・・・だけど、君が歩きつづければの話だけだね』**

どこへ向かっていようが、どこかに到着したいなら歩き続けることが大事であって、前を向いたまま後ろに進むなら、前を向いたまま前に進んだ方が楽だって話です。あきらめて立ち止まってしまえばそこで終わりです。しかし、立ち止まっても、もう一度がんばろうと思って前に進めば何かを得ることができます。

「継続は力なり」という言葉があります。言うことは簡単ですが、これを実行することは大変なことです。あまり力まず、アリスのように目標に向かってただひたすら続けることによって何か大きなことが得られるのではないのでしょうか。

「継続は力なり」のことわざのたとえに、よくマリナーズのイチローのことが引き合いに出されます。大リーグでたくさんの記録を更新し続けているイチローも小さい頃から、「野球の練習」、「あいさつ」、「グローブを磨くこと」の3つは、毎日毎日どんなに忙しくても辛くても続けたそうです。また、だいぶ前になりますが、テレビのコマーシャルの中で**イチローが言った言葉に「小さなことを重ねることが、とんでもないところに行くただ一つの道だ」というの**がありました。自分を戒める言葉として今でも印象に残っています。昔から「天才は、1%のひらめきと99%の努力である」と言われています。生まれながらにして才能があり、楽をして天才になったわけではなく、どんなことがあっても継続し、努力し続け、大きな偉業を成し遂げた人が天才と呼ばれるのだと思います。将来のある若い皆さんには、その可能性が十分にあると思います。

今、みんなが毎日続けている10分間の朝学習や朝読書。一日10分といえども100日で1000分、一ヶ月で3000分（5時間）、一年で3650分（60時間）にもなります。継続することは「経験」が蓄積されるということです。その経験こそが何物にも変えがたい自分の力になっていきます。

また、各部活動では、先月から夏の大会が始まっています。また、先週から放課後の向島ゼミナールが開講されました。3年生は、進路に向けて実力をつけるとき、「今日はちょっと時間がないから休んじゃえ」とか「5分くらいじゃ間に合わないからパスしちゃえ」などと自分の都合のいい理由をつけてサボっては、自分の目標や夢を叶えることはできません。そんな時、アリスやイチローの話思い出して、**怠けたくなる心の弱さにブレーキをかけ、基本を繰り返して、それを続けていくことが大きな力になるということ**を信じて、頑張ってください。